

海外留学（短期プログラム）報告書

所属：国際教養学部

プログラム名：English as a second language（カナダ・レジャイナ大学）

留学期間：2019.8/10~8/31

・このプログラムを選んだ理由

私はこの夏休みにカナダのサスカチュワン州にあるレジャイナ大学での短期留学プログラムに参加しました。私は、必然的に英語を話す機会が増え、同時に文化についても多く学ぶことができるホームステイをしたいと思っていました。そしてこのプログラムは時期も私の予定にあっていて、ホームステイもできるということで、参加することを決めました。

・大学・授業・アクティビティについて

私のホストファミリーの家からレジャイナ大学までは少し離れていて、朝はバスで1時間近くかかりました。最初は早起きをすることに慣れず、少し大変でしたがだんだん生活に慣れていくとそこまで苦を感じなくなりました。レジャイナ大学を最初に訪れた時の印象はひたすら広くて綺麗！！でした。大学内には飲食店、カナダやレジャイナ大学のお土産を売っているお店もあり、快適に過ごすことができました。

授業は平日の8時半から15時半まで、毎日5時間行われました。日本人は千葉大以外にも都留文科大学、山口大学、そして私のクラスには鶴見大学からきている長期留学の学生がいました。最初にリスニング、文法、長文のテストを受け、クラス分けをしました。私のクラスは日本人9人、メキシコ人9人の18人のクラスでした。授業ではディスカッションなどのスピーキングがメインで、リスニングや文法、ライティングにも取り組みました。最初に行われたテストにはスピーキングはなく、文法とリスニングのみで、スピーキング力は考慮されていないので、授業ではメキシコ人とのスピーキング力の差を感じる場面がとても多かったです。私のクラスの日本人はみな大学生でしたが、メキシコ人は大学生、大学院生、英語の先生をやっている人など年代が幅広く、特に英語の先生をしている人は話し方が流ちょうで、自分の考えをしっかりと持ってそれを伝えることができているので尊敬しました。また、メキシコ人の授業に対する積極的な姿勢にたくさん刺激されました。授業ではカナダの文化や歴史、そしてメキシコについても多くのことを学ぶことができました。私は異文化を学ぶことが好きなので、カナダだけではなくメキシコの文化も学ぶことができるととても嬉しかったです。お互いの言語や歌を教えあったのはいい思い出です。

放課後や週末にはたくさんのアクティビティが用意されていて楽しかったです。街の中心でダンスをしたり、隣町に行ったり、博物館を訪れたりすることができました。レジャイ

ナはそんなに大きい都市ではないので、3週間もいれば、街の主要な観光スポットやお店は行くことができます。街の中心にあるショッピングモールには何回も行くことができました。

・ホストファミリーについて

私のステイ先は 60 代の夫婦、犬、甲南女子大学からの日本人留学生という構成でした。甲南女子大学の学生は、レジャイナ大学での短期留学に参加していましたが、日程が 1 週間ずれたものだったので、最初の 2 週間のみ一緒に過ごしました。ホストファザー、マザーはとても明るく親切でした。教会に連れていってもらったり、議事堂を訪れたり、映画を見たりもしました。ホストマザーの料理はおいしく、食事がとても楽しみでした。朝ごはんはシリアルやパン、ワッフルを食べることが多く、昼はサンドイッチやフルーツ、ヨーグルトを大学へもっていきました。夜はピザやパスタ、ビーフシチューのようなものなどを作ってくれました。量はかなり多かったのでおなかいっぱい食べることができました。ただ、ジャンキーなものやとても甘いものが多かったので、日本食が恋しくなる時もありました。このプログラムに応募する際に記入したホームステイ先の希望条件のいくつかは通っていませんでしたが、ホストファミリーは手厚くサポートしてくれ、とても楽しい時間を過ごすことができましたので、この家庭にホームステイできてよかったと思っています。

・レジャイナでの生活について

カナダは緯度が高く、日本よりかなり寒いことを予想していましたが、朝と夜が想像以上に寒かったです。日本の秋から冬にかけての気温くらいに感じました。私は長袖の服をほぼもっていかなかったので、少し後悔しました。昼は暖かく比較的過ごしやすい日が多かったです。また、日本に比べると日が長く、日没は 20 時半頃だったので、とても違和感がありました。また、レジャイナはとても自然豊かで、大学や街中でも野生のウサギやリス、カナダグースという鳥をよく目にしました。道やひとつひとつの家の幅が広がったのも印象的です。

主な公共交通機関は市バスです。人が乗る電車は通っていなかったので、人は基本的にバスか車で移動するという形でした。フリーパスがもらえたので、それを使って大学やショッピングモールへ行っていました。バスには自転車を取り付ける装置がついていたり、車いすを固定する器具があったりと日本のものより機能が優れているように感じました。

カナダの人々はとても気さくで親切な人が多かったです。道端ですれ違った人はほとんど微笑んで挨拶をしてくれたり、バスの運転手や店員に分からないことを聞くと、とても丁寧に教えてくれたりと心温まることがとても多く、いい国だなと思いました。

・感想

たった 3 週間という短い期間でしたが、たくさん英語に触れることができ、多くの文化

を学べ、とても濃く充実した時間でした。3週間では英語の能力という点ではそこまで向上を望めないとは思いますが、海外の雰囲気や文化を肌で感じることができ、自分に足りないものが分かり、なにより積極的にコミュニケーションをとって、たくさんの友達ができたといい点で、とても満足いくプログラムでした。このプログラムに参加してほんとに良かったと思っています。また、海外に行って、多くの人と話したり、異文化体験をしたりしたいです。